

特に断らなければ $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^2$ とする. ベクトルは縦横のどちらで書いても差し支えない. 要点が押さえられていれば, 必ずしもすべての計算過程を書く必要はない. 「答のみでよい」と書かれている問題について, 誤りを含む途中経過が書かれている場合は減点の対象になり得る.

1. (1) $\mathbf{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 3 \end{pmatrix}, \mathbf{b} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{c} = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3$ に対し, $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ を計算せよ. また, $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ が張る平行六面体の体積 V を求めよ.
(答のみでよい)

- (2) $\theta \in \mathbb{R}$ を定数とする. \mathbb{R}^2 上の関数 $f(\mathbf{u}) := (1 + \cos \theta)x^2 - 2(\sin \theta)xy + (2 - \cos \theta)y^2$ に対し, $\text{grad}(f)(\mathbf{u}) = \mathbf{0}$ となる $\mathbf{u} \in \mathbb{R}^2$ をすべて求めよ. (答のみでよい)

- (3) \mathbb{R}^2 上のベクトル場 $\mathbf{V}(\mathbf{u}) := \begin{pmatrix} x^3 - x^2 + xy^2 - 2xy \\ -x^2y - 2xy + 4y \end{pmatrix}$ に対し, \mathbb{R}^2 上の関数 $\text{div} \mathbf{V}$ の最大値, 最小値があればそれを求め, ない場合は「なし」と答えよ. (答のみでよい)

- (4) $k \in \mathbb{R}$ を定数とする. \mathbb{R}^2 上の関数 $g(\mathbf{u}) := e^{2x} \sin ky$ に対し, \mathbb{R}^2 上の関数 $\text{div}(\text{grad}(g))$ が恒等的に 0 となるような定数 k をすべて求めよ. (答のみでよい)

- (5) $h: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$ を $h(\mathbf{u}) := x^3 - xy + y^3 - 1$ で定める. $L := h^{-1}(0)$ は \emptyset かどうか, \emptyset でない場合は正則曲線かどうか, 理由とともに答えよ.

2. \mathbb{R}^2 上のベクトル場 \mathbf{V}, \mathbf{W} を $\mathbf{V}(\mathbf{u}) := \begin{pmatrix} 4x^3 + 2xy^2 \\ 2x^2y + 4y^3 \end{pmatrix}, \mathbf{W}(\mathbf{u}) := \begin{pmatrix} 4x^2 + 2y^2 \\ 2x^2 + 4y^2 \end{pmatrix}$ で定義する.

- (1) $\text{div} \mathbf{V}, \text{rot} \mathbf{V}, \text{div} \mathbf{W}, \text{rot} \mathbf{W}$ を求めよ. (答のみでよい)

- (2) C^∞ 級関数 $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$ で $\mathbf{V} = \text{grad}(f)$ をみたすものは存在するか? 存在するならば f を 1 つ与え, 存在しないならばそのことを証明せよ.

- (3) C^∞ 級関数 $g: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$ で $\mathbf{W} = \text{grad}(g)$ をみたすものは存在するか? 存在するならば g を 1 つ与え, 存在しないならばそのことを証明せよ.

- (4) 曲線のパラメータ $l: [0, \pi] \rightarrow \mathbb{R}^2, l(t) := \begin{pmatrix} t \cos t \\ t \sin t \end{pmatrix}$ に対し, $\int_l \mathbf{V} \cdot d\mathbf{l}$ を計算せよ.

- (5) 曲線のパラメータ $m: [0, 2\pi] \rightarrow \mathbb{R}^2, m(t) := \begin{pmatrix} \cos t \\ \sin t \end{pmatrix}$ に対し, $\int_m \mathbf{W} \cdot d\mathbf{m}$ を計算せよ.

3. $\Omega := \{\mathbf{u} \in \mathbb{R}^2 \mid 0 < x, y < 1\}$ とし, $L := \partial\Omega$ には Ω が導く向きを入れる. この向きを表す区分的正則な周期的パラメータ l と, ベクトル場

$$\mathbf{V}(\mathbf{u}) := \begin{pmatrix} x^7 + 2x^6y - x^5y^2 + 3x^4y^3 - 2x^3y^4 - 3x^2y^5 - xy^6 \\ x^6y - 6x^5y^2 + 2x^4y^3 - 3x^3y^4 + x^2y^5 + xy^6 + y^7 \end{pmatrix}$$

に対し, $\int_l \mathbf{V} \cdot \mathbf{n} d\mathbf{l}$ を計算せよ.

4. $\Omega := \mathbb{R}^2 - \{\mathbf{0}\}$ 上のベクトル場 $\mathbf{V}: \Omega \rightarrow \mathbb{R}^2$ を $\mathbf{V}(\mathbf{u}) := \frac{1}{9x^2 + y^2} \begin{pmatrix} -y \\ x \end{pmatrix}$ で定める. 曲線のパラメータ $l: [1, 2] \rightarrow \Omega,$
 $l(t) := \begin{pmatrix} t \cos 2\pi t \\ t \sin 2\pi t \end{pmatrix}$ に対し, $\int_l \mathbf{V} \cdot d\mathbf{l}$ を計算せよ.